ZEPHYROS

ゼフュロス No.79

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2019年5月20日発行

ISSN1342-8071

特集1 開館60周年を迎えて

特集2 国立西洋美術館開館60周年記念
松方コレクション展

開館60周年を迎えて

1959年開館当時の本館外観
撮影：東京フォトアート

19世紀ホール
撮影：東京フォトアート

国立西洋美術館は、今年6月に開館60周年を迎えます。敗戦後14年しか経っていないこの時期に、松方幸次郎が集めた375点の西洋美術の名作が、竣工成ったばかりのル・コルビュジエの設計による建物に展示されるというその晴れがましさは、今から見ても胸ときめく出来事だったでしょう。政界、財界、芸術界、国民一体となって募金活動を行い、この日を待ち焦がれたそうです。折しも皇太子（上皇陛下）ご夫妻のご成婚が4月にあり、日本が国の未来の明るい兆しを感じ取った時代でした。

その後60年の間に、本館の後ろに新館が、前庭の地下に企画展示館が建設され、展示スペースは3倍になり、作品数も2018年度初めには6000点を超えました。毎年松方幸次郎ゆかりの作品や、西洋美術の傑作を収集することができるのも、税金を使える国立美術館ならではの特典です。また開館当時はフランスの現代美術（マイヨール、ルオー、レジェ、シャガールなど）を収集したりしていましたが、9年後には新館長山田智三郎のもと、コレクションを西洋美術の流れがわかるよう、中世末期から20世紀初頭までのものという方針転換を行い、今日ではこの時代の作品を網羅的に集める方向で、欠けている時代や地域を埋める努力をしています。

60年が経過し、その間ル・コルビュジエの本館は2016年にユネスコ世界文化遺産に登録され再び注目を集めましたが、今年は『松方コレクション展』を開催し、もう一度松方幸次郎がどのような収集をしたのか、それらがどのような歴史の流れに翻弄されたのか、細かく検証したいと思っています。当館が設立された時代の息吹を再び思い出すのみならず、松方コレクションが形成された100年前にも思いを馳せたいと考えます。

（国立西洋美術館長　馬渕 明子）

会期：2019年6月11日（火）～ 9月23日（月・祝）　企画展示室

企画展「国立西洋美術館開館60周年記念　松方コレクション展」

クロード・モネ　《睡蓮》　1916年　油彩、カンヴァス
国立西洋美術館（松方コレクション）

「あるうららかな日ざしの秋の日に、パリのシャンゼリゼーの大通りを松方さんに連れられて散歩しながら、その日、非常な上機嫌であった松方さんからこういうことを聞いた。『日本に何千人の油画描きがいながら、その人たちはみんな本物のお手本を見ることもできずに、油絵を一生懸命に描いて展覧会に出している。私はそれが気の毒なので、ひとつわしがヨーロッパの油画の本物を集めて、日本に送って見せてやろうと思っている』。」

（矢代幸雄『藝術のパトロン』1958年、26頁）

松方コレクションとは、神戸の実業家松方幸次郎（1866年（慶応元年12月1日）－1950年）が、第一次世界大戦による船舶需要を背景に事業を拡大しつつ、1910年代半ばから1920年代半ばにかけてロンドンやパリなどで築いたコレクションであり、国立西洋美術館の設立の基礎をなすものです。現在では、モネやルノワール、ゴーガン、ゴッホ、ロダンなど近代フランス美術の優品で知られますが、当時、松方は日本の芸術家と国民に役立つ美術館を作ろうと、多様な地域、時代、そして絵画から工芸品まで多様なジャンルの作品を買い集めていました。近年、ロンドン焼失作品のリストが見つかったことによって全貌がおおよそ明らかになり、その総数は実に3000点を超え、フランスから買い戻した浮世絵約8000点も加えれば1万点を超えるという大規模なコレクションであったことがわかっています。当時のパリの画商からは、松方は「突如ヨーロッパにやってきて、東京に美術館を建てるために近代絵画の画商たちの店を空っぽにしてしまった」とも評されました。

しかし1927年、昭和金融恐慌のあおりで松方率いる川崎造船所は経営破綻に陥り、コレクションは流転の運命をたどります。日本に到着していた作品群は売り立てられ、ヨー

クロード・モネ　《睡蓮、柳の反映》　1916年　油彩、カンヴァス
国立西洋美術館（旧松方コレクション）（修復処置前）

ロッパに残されていた作品も一部はロンドンの倉庫火災で焼失、一部は第二次世界大戦末期のパリでフランス政府に接収されました。戦後、フランスから日本へ返還された375点とともに、1959年に国立西洋美術館が誕生したとき、ようやく松方コレクションは安住の地を見出したのです。

開館60周年を記念した本展では、当館の所蔵品を核としつつ、名高いゴッホ《アルルの寝室》をはじめとする国内外に散逸した作品や、未公開の新資料もあわせ、作品・資料約160点を通じて、時代の荒波に翻弄され続けた松方コレクションの100年に及ぶ航海の軌跡をたどります。なかでも、2016年に再発見されたモネの《睡蓮、柳の反映》が1年にわたる修復処置を経てはじめて披露される貴重な機会となります。

（国立西洋美術館主任研究員　陳岡 めぐみ）

エドガー・ドガ　《マネとマネ夫人像》
1868-69年頃　油彩、カンヴァス　北九州市立美術館

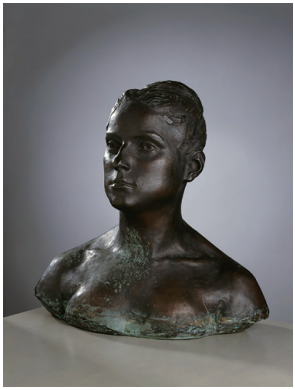
表紙
フィンセント・ファン・ゴッホ　《アルルの寝室》
1889年　油彩、カンヴァス　オルセー美術館
Paris, musée d'Orsay, cédé aux musées nationaux en application du traité de paix avec le Japon, 1959
Photo © RMN-Grand Palais (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

松方コレクション展
一　般　1,600円（1,400円）
大学生　1,200円（1,000円）
高校生　　800円　（600円）
＊中学生以下、心身に障害のある方および付添者1名は無料（入館の際に学生証・障害者手帳をご提示ください。）
＊（　）内は20名以上の団体料金
＊本展の観覧券で常設展も併せてご覧いただけます。

会期：2019年6月18日（火）～ 9月23日（月・祝）　新館展示室内

特別展「日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念 モダン・ウーマン―フィンランド美術を彩った女性芸術家たち」

ヘレン・シャルフベック　《占い師（黄色いドレスの女性）》
1926年　フィンランド国立アテネウム美術館
Finnish National Gallery/Ateneum Art Museum, Kaunisto Collection
Photo: Finnish National Gallery/Hannu Aaltonen



シーグリッド・アフ・フォルセルス　《青春》
1880年代　フィンランド国立アテネウム美術館
Finnish National Gallery / Ateneum Art Museum
Photo: Finnish National Gallery / Hannu Aaltonen

このたび、日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念して、国立西洋美術館では初となるフィンランド美術の展覧会を開催します。本展はまた、19世紀後半から20世紀初頭にかけて、フィンランドの近代美術に革新をもたらした女性芸術家たちに焦点を当てる、日本で初めての試みでもあります。

フィンランドの女性芸術家と聞くと、数年前に回顧展が開かれたヘレン・シャルフベックの名前をすでにご存知かもしれません。しかし、同時代に活躍した女性芸術家は彼女だけではありませんでした。19世紀半ばに設立されたフィンランドで最初の美術学校は、当時のヨーロッパではめずらしく、創立当初から女性の入学を認め、国外旅行や留学を積極的に援助しました。このことは、フィンランドの女性たちが国際的な環境で研鑽に励みながら芸術家としてのキャリアを切り開く上で決定的な役割を果たしたのです。

本展は、フィンランド国立アテネウム美術館の企画によって欧米3都市で開催された国際巡回展をベースに、日本オリジナルの内容に再構成したものです。同美術館のコレクションから、近年ますます世界的に注目を集めるシャルフベックをはじめ、パリでオーギュスト・ロダンに学び、国立西洋美術館も所蔵する彼の代表作《カレーの市民》制作時の助手も務めた彫刻家シーグリッド・アフ・フォルセルスら、計7人のフィンランド人女性芸術家を一堂に紹介します。絵画、彫刻、素描、版画など85点の作品を通して、生涯にわたり「モダン」で新しい芸術表現を追い求めた、彼女たちの多彩な活動と功績を是非ご覧ください。

（国立西洋美術館特定研究員　久保田 有寿）

常設展（本展は常設展料金でご覧いただけます）
一　般　　500 円（400 円）
大学生　　250 円（200 円）
＊小・中学生・高校生および 18 歳未満、65 歳以上、心身に障害のある方および付添者 1 名は無料
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）
＊（　）内は 20 名以上の団体料金

EVENTイベント

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

松方コレクション展

● 講演会

日　　時：**6月11日（火）14:00～15:30**　※同時通訳つき
ブリュノー・マルタン（国立建築文化財メディアテーク写真部門資料調査担当）
「写真家ピエール・シュモフのカメラがとらえた松方コレクション」

日　　時：**6月15日（土）14:00～15:30**
邊牟木 尚美（国立西洋美術館研究員）
「松方コレクション展と作品修復」

日　　時：**7月20日（土）14:00～15:30**
宮崎 克己（昭和音楽大学教授）
「印象派ブームわき起こる～第一次大戦直後の日本」

日　　時：**9月7日（土）14:00～15:30**
陳岡 めぐみ（国立西洋美術館主任研究員）
「松方コレクション　百年の流転」

会　　場：国立西洋美術館講堂（地下２階）
定　　員：各回先着 130 名（聴講無料。ただし、聴講券と本展の観覧券（半券可）が必要です。）
参加方法：当日 12：00 より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます（整理番号順）。

● スライドトーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って解説します。
日　　時：**7月5日（金）、8月16日（金）、9月13日（金）　各回18:00～（約30分）**
会　　場：国立西洋美術館講堂（地下２階）　　解説者：玉生 真衣子（東京大学大学院）
定　　員：各回先着 130 名（聴講無料。ただし、本展の観覧券（半券可）が必要です。）
参加方法：直接講堂にお越しください（開場時間は各日とも開演の 30 分前）。

モダン・ウーマン―フィンランド美術を彩った女性芸術家たち

● 国際シンポジウム

「近代の女性芸術家たち：フィンランドと日本」
日　　時：**6月21日（金）14:00～18:00**　※同時通訳つき
登 壇 者：アンナ＝マリア・フォン・ボンスドルフ
（フィンランド国立アテネウム美術館主席学芸員）
アヌ・ウトリアイネン
（フィンランド国立アテネウム美術館上級研究員）
アンナ＝マリア・ウィルヤネン
（フィンランドセンター所長）
児島 薫（実践女子大学教授）
主　　催：国立西洋美術館
助　　成：NOMURA 野村財団、
公益財団法人吉野石膏美術振興財団
後　　援：フィンランド大使館、フィンランドセンター、
日本フィンランド協会、美術史学会

● 講演会

日　　時：**7月13日（土）14:00～15:30**
佐藤 直樹（東京藝術大学准教授）
**「ヘレン・シャルフベックと写真
―バーン＝ジョーンズ作品の複製写真による影響」**

国際シンポジウム、講演会
会　　場：国立西洋美術館講堂（地下２階）
定　　員：各回先着 130 名（聴講無料。ただし、聴講券と観覧券（半券可）が必要です。）
参加方法：当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。
会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます（整理番号順）。

● ギャラリートーク

展覧会のみどころや主な作品について、担当研究員が作品を前にして解説します。
日　　時：**7月19日（金）、8月9日（金）、9月6日（金）　各回18:00～（約30分）**
会　　場：新館２階展示室内　　解説者：久保田 有寿（国立西洋美術館特定研究員）
参加方法：直接モダン・ウーマン展の展示開始場所（新館２階）へお越しください（参加無料。ただし、観覧券（半券可）が必要です。）。

※イベントのタイトル・内容等は変更となる場合があります。
最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル（03-5777-8600）でご確認ください。

Museum Shop ミュージアムショップ

おすすめ本

『松方コレクション　西洋美術全作品：第2巻 彫刻・素描・版画・工芸その他』

A4判　424ページ　平凡社　2019年刊

32,000円（税抜）

実業家・松方幸次郎がロンドンやパリで買い集めた西洋美術品を網羅する総カタログ。その作品収集の背景には美術館を建設し日本の社会に貢献するという壮大な構想があります。本書編纂中にロンドンで焼失した作品のリストがみつかり、これまで未解明だった全貌がほぼ明らかになりました。第1巻の絵画編に続き、第2巻は彫刻・素描・版画・工芸の各分野を収録。全2巻完結。

Café カフェすいれん

「松方コレクション展」特別メニュー

期間　6月11日(火)～9月23日(月・祝)

●睡蓮カニクリームコロッケセット

（1日20食限定）1,980円（税込み）

松方コレクションの代表作であるクロード・モネの作品《睡蓮》を表現したカニクリームコロッケにデザート（パンケーキのココナッツクリーム）とソフトドリンクが付いたお得なセットメニューをご用意いたしました。是非お試しください。

チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェすいれん）で Suica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除外品がございます。）詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー［企画展示/常設展示］ 2019年5月～10月

休館日　土日・祝日

MAY 5

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金

ル・コルビュジエ　絵画から建築へ－ピュリスムの時代 2月19日(火)～5月19日(日)（本館）

林忠正－ジャポニスムを支えたパリの美術商 2月19日(火)～5月19日(日)（版画素描展示室）

全館休館　5月20日(月)～6月3日(月)

JUN 6

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日

国立西洋美術館開館60周年記念　松方コレクション展 6月11日(火)～9月23日(月・祝)（企画展示室）

常設展一部(新館)閉室 6月4日(火)～6月10日(月)

常設展一部(新館2階)閉室 6月11日(火)～6月17日(月)

モダン・ウーマン－フィンランド美術を彩った女性芸術家たち 6月18日(火)～9月23日(月・祝)（新館展示室内）

JUL 7

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水

国立西洋美術館開館60周年記念　松方コレクション展 6月11日(火)～9月23日(月・祝)（企画展示室）

日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念　モダン・ウーマン－フィンランド美術を彩った女性芸術家たち 6月18日(火)～9月23日(月・祝)（新館展示室内）

AUG 8

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土

国立西洋美術館開館60周年記念　松方コレクション展 6月11日(火)～9月23日(月・祝)（企画展示室）

日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念　モダン・ウーマン－フィンランド美術を彩った女性芸術家たち 6月18日(火)～9月23日(月・祝)（新館展示室内）

SEP 9

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月

国立西洋美術館開館60周年記念　松方コレクション展 6月11日(火)～9月23日(月・祝)（企画展示室）

モダン・ウーマン－フィンランド美術を彩った女性芸術家たち 6月18日(火)～9月23日(月・祝)（新館展示室内）

常設展一部(新館)閉室　9月25日(水)～10月3日(木)

OCT 10

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木

日本・オーストリア友好150周年記念　ハプスブルク展　600年にわたる帝国コレクションの歴史 10月19日(土)～2020年1月26日(日)（企画展示室）

常設展一部(新館)閉室　9月25日(水)～10月3日(木)

●全館休館・一部閉室・臨時開館のお知らせ

*5月20日(月)～6月3日(月)は展示替えのため全館休館します。
*6月4日(火)～6月10日(月)、9月25日(水)～10月3日(木)は展示替えのため新館を閉室します。
*6月11日(火)～6月17日(月)は展示替えのため新館2階を閉室します。
*8月13日(火)、9月17日(火)は開館します。
*10月18日(金)は展覧会準備のため、全館休館します。

●常設展示

ロダンやブールデルの彫刻と中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。
（展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。）

※展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。
※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007　東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
  金曜・土曜日　午前9時30分～午後9時
  6月14日～9月の金・土曜日、毎月最終金曜日は、午前9時30分～午後10時
  常設展開室時間…午前9時30分～午後5時30分
  金曜・土曜日　午前9時30分～午後8時（ただし、11月30日は午後5時30分まで）
  6月14日～9月の金・土曜日、毎月最終金曜日は、午前9時30分～午後9時
  企画展開室時間…午前9時30分～午後5時30分
  ル・コルビュジエ展の金曜・土曜日は、午前9時30分～午後8時
  松方コレクション展の金曜・土曜日は、午前9時30分～午後9時
  ハプスブルク展の金曜・土曜日は、午前9時30分～午後8時（ただし、11月30日は午後5時30分まで）
  *入室は閉室の30分前まで
- 休館日…月曜日（ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日）
  *その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、国際博物館の日（5月18日）、文化の日（11月3日）
- お問い合わせ…ハローダイヤル：03－5777－8600
  http://www.nmwa.go.jp/

※誌名について…「ZEPHYROS」（ゼフュロス）はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさと色さまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第79号
編集・発行　国立西洋美術館/2019年5月20日(年4回発行)
協　　力　公益財団法人　西洋美術振興財団
印　　刷　(株)アイネット

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art